

塩浦小学校

対馬市豊玉町

校長

坂田 淑子さん



ゴミのない、キレイな通学路を目指して 「1人1鉢運動」を通して学ぶ命の大切さ

対馬市のほぼ中央、自然豊かな豊玉町の大漁湾の奥に位置する塩浦小学校。全校児童15人、教職員7人が協力し、ボランティア活動の一環として、学期ごとに1回、通学路の清掃活動を実施しています。範囲は県道39号線、主要地方道路上対馬豊玉線、学校を中心とした約1km 区間。子どもたちからは、「掃除が終わったあとはキレイになって良かった」「自分がよそに行ってもゴミを捨てないし、拾うことがあります」との声が上がっているそうです。

回数を重ねるにつれて「子どもたちの様子も変わってきた」と校長の坂田淑子さんは語ります。「作業が要領良くできるようになり、子どもたち同士がよく協力しています。前回に比べてゴミの量がどう変化しているか、清掃活動以外に自分たちにできることはどんなことがあるかなど、総合的な学習と結び付けて考えている学年もあります」と坂田さん。

他にも「1人1鉢運動」として、1人につき1つ、

学校前の歩道にあるプランターに草花を植えて管理。植物を育てることで命の大切さを学び、思いやりの心を育てています。「10年以上前から行われてきた活動ですが、夏場はポチュラカ、ヒャクニチソウ、冬場はパンジーなどを植えました。今年は夏の猛暑と雨が降らなくなったこともあり、水やり作業は大変でした。でも子どもたちは責任をもって世話をしています」。

活動は平成25年度道路功労者表彰を受けました。子どもたちからは「表彰されて嬉しい。掃除や草花の栽培もやりがいがあると思いました」「これからも続けていきたい」などの声。喜びを感じ、その思いは次の清掃活動へ繋がっているようです。他にもPTAとの合同通学路除草作業も行っています。「明るくまじめな子どもたちが多く、花に声をかけながら熱心に世話をしています。子どもたちが活動する朝の時間帯は車の通行量が多いので、安全面には特に気をつけながら、これからも続けていきたいと思っています」と坂田さん。



お互い協力しながら作業を進めています



愛情を込めて草花を育てている子ども達